



NO.143

地域の皆さんの憩いの場

## ふれて子ども食堂



調理するスタッフの皆さん



子ども食堂は、子どもの孤食（一人で食事をすること）を減らし、地域のつながりを深めることなどを目的に全国で広まった取り組みです。地域交流ホームふれてでは「ふれて子ども食堂」が開かれています。地域住民が安価で気軽に食事ができる憩いの場です。地域の交流を広げたいと、平成28年に、ふれて市民スタッフと北広島団地「地域のお茶の間」運営委員がボランティアで始めました。毎月1回日曜に開き、夏・冬・春休みは回数を増やして実施しています。

ふれて子ども食堂は、子どもに限らず高齢者や一人で食事をすることが多い方など、誰でも参加できるのが特徴です。始めたばかりの頃は、やりくりが大変でしたが、活動に賛同する地域住民や企業から食材の寄付が徐々に増えて、今では安定した運営ができるようになりました。

2月の子ども食堂には子どもから大人まで多くの方が訪れ、豚丼と野菜たつぷりのみそ汁を味わいながら「おいしい」「いつも楽しみにしています」と笑顔を見せていました。スタッフの寺岡和彦さんは「地域の皆さんが活動を支えてくださり、ありがたく思っています。来てくださる方が安心して食事ができることを常に心掛けています。今後は、工夫してメニューを増やしたいです」と話します。3月は10日・27日に開く予定です。温かい食事とスタッフの笑顔が迎えてくれる子ども食堂に、出掛けてみませんか。

**ふれて子ども食堂**  
会場・問合せ  
地域交流ホームふれて  
(白樺町1丁目8-2 ☎  
372-0100)

## まめ記者

### 大曲小学校の取り組み



大曲小学校6年  
谷口怜音さん  
(児童会長)

大曲小学校は元気なあいさつが響き渡る、思いやりのある学校です。11月には「思いやり集会」を行いました。その行事に向けて全校児童に、してもらってうれしかった思いやりのある行動を手紙にしてもらい、それを貼り付けた「思いやりツリー」を書き局で作成しました。日々の生活で思いやりのある行動ができるように、これからも頑張っていきます。

また、「給食完食グランプリ」という企画も行いました。各学級で完食できた人数を記録することで、苦手なものも頑張つて食べたり、おかわりを積極的にしたり、完食に向けて全校児童が取り組むことができました。

これからもさまざまな企画を通して、大曲小学校をより良くできるように活動をしていきます。



思いやりツリー